

絃友会便り

名渡山兼一と絃友会をご支援くださる皆様へ近況報告、

絃友会便りをお届けします。 2015.3.4 No.105

絃友会事務局・新谷 真由美 <http://www.genyu-kai.com>

第5回 川崎郷土・市民劇 作 小川 信夫 演出 鈴木 龍男 (前連座)

華やかな散歩

「赤城の子守唄」「人生の並木路」「湖畔の宿」「六甲おろし」…の
作詞者・佐藤惣之助は、川崎が生んだ詩人



激動の昭和、
日本詩壇に、歌謡史上に
幾多の作品を残した
逸材の詩人

その苦悩と反骨の半生を描く

裏面の2枚の写真も1枚「佐藤惣之助本展120年記念展」/プリントより

2015年 5月公演	8(金)夜6:30	9(土)午後2:00	10(日)午後2:00	多摩市民館
	22(金)夜6:30	23(土)午後2:00	24(日)午後2:00	川崎市教育文化会館
一般前売り 2,500円 (税込3,000円) 障がい者・小学生から大学生 1,000円 (税込1,500円) 指定席 3,500円 (後売は2015年2月2日迄)				
主催 川崎郷土・市民劇上演実行委員会		お問い合わせ 〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 3F		
共催 川崎市 川崎市教育委員会 (公財)川崎市文化財団		川崎市文化財団内 TEL & FAX 044-211-2250		
協賛 川崎市総合文化団体連絡会 川崎市観光協会		イラストレーション 山川 雅夫 デザイン 佐藤 寛裕		

第5回川崎郷土・市民劇

川崎が生んだ詩人一佐藤惣之助

一愛と葛藤のドラマ

川崎郷土・市民劇の前作「大いなる家族」は、
沖縄から川崎に移り住み苦難の多かった戦中・
戦後を、歌・三絃・踊りを心の糧に生き抜いた
ウチナーンチュの姿、その時代の川崎の様子や
国の情勢、語りたくないかもしれない自らの戦
争体験も含め・・・作者の小川信夫氏は、綴っ
て下さり深く感銘いたしました。

今回の「華やかな散歩」の台本を読ませてい
ただき、今の時代では想像もつかないようなこと
がもっともとあったのだと心を揺さぶられて
います。

川崎と沖縄の繋がりは仕事を求めて移住が多く、
大正時代に遡ると聞いています。

名渡山会主もその一人・・・昭和43年川崎市
に移住し会社を興し川崎の高度成長期に力を尽

くしました。その傍ら沖縄芸能の普及・発展を願い三絃を奏で続けられたのは、川崎市や神奈川県
の理解・関心があったからこそと私たち会員に伝えて下さっております。

沖縄だけでなくあらゆる県出身者が暮らし、世界中の人が集う神奈川・川崎、それぞれの文化・風
習を認め合い交流を深めるこの地に居ることを心から嬉しく思っています。

このドラマと沖縄の関わり

昭和の始め頃、富士ガス紡績で働いていた沖縄出身の女工さんたちを中心に沖縄舞踊同好会ができ
時々開催された公演を佐藤惣之助夫妻が観劇、奥様の花枝さんはとても関心を持って下さったよう
です・・・病で早世した花枝さんのご仏前でお好きだった沖縄舞踊を舞う女工さんたち・・・沖縄
舞踊のシーンはわずかですが、古くから川崎区で活動してこられた3団体が出演します。

(音源は前回に引き続き、名渡山 兼一)

小川氏の調べと照らし合わせますと、阿波連本啓先生が同時期富士ガス紡績の女工さんたちを中心
に沖縄舞踊指導した経緯を知りました。川崎沖縄県人会にも古くを知る人がいなくなってしまう
この頃、違った観点から川崎と沖縄の繋がりを知ることができ本当にありがたく思っています。

沖縄舞踊出演
前売り券

赤嶺精子沖縄舞踊研究所・阿波連とも子琉舞研究所・佐久川昌子沖縄舞踊研究所
名渡山絃友会 090-2240-0136